

## 全国障害者スポーツ大会埼玉県代表選手候補者選考規程

### （目的）

第1 この規程は、全国障害者スポーツ大会埼玉県代表選手選考委員会設置要綱第2条第1項に基づき、全国障害者スポーツ大会（以下「全スポ大会」という。）に派遣する埼玉県代表選手候補者（以下「代表選手候補者」という。）の選考に係る基準を定めることを目的とする。

### （選考会）

第2 代表選手候補者は、埼玉県が代表選手選考の対象大会と定めた大会（以下「選考会」という。）に出場した選手の中から選考するものとする。

ただし、災害等により選考会が実施できなかった場合は、選考委員会において選考方法について協議の上、選考するものとする。

### （個人競技の選考）

第3 個人競技の選考に当たっては、選考会の記録優良者の中から競技や種目の特性に応じて選考するものとする。

第3の2 卓球競技については、前項に定める事項のほか、別に定める卓球選手競技力評価基準により評価し、選考するものとする。

第3の3 個人競技の選考に当たっては、前2項の定めによるほか、次の第4から第6までに定める事項に配慮するものとする。

### （未経験者への配慮）

第4 個人競技の選考に当たっては、なるべく多くの全スポ大会未経験者が全スポ大会を経験できるよう未経験者に配慮するものとし、少なくとも1／3以上の者が未経験者となるよう選考を行うものとする。

第4の2 個人競技の選考に当たっては、出場経験者については出場回数が少ない者を優先して選考するものとし、連続出場は原則として3回までとする。

### （選手団構成への配慮）

第5 個人競技の選考に当たっては、代表選手候補者の障害、性別、年齢、競技種目、居住地域等に偏りが生じないように配慮するものとする。

### （障害者スポーツ振興への配慮）

第6 個人競技の選考に当たっては、障害者スポーツ振興及び障害者の社会参加推進の観点から、障害者スポーツに取り組む姿勢及び地域での活動状況等を考慮するものとする。

### （団体競技選手の選考）

第7 団体競技の選考に当たっては、各競技の監督（代表者を含む。）から別に定める評価調書の提出を受け、当該調書に基づき選考するものとする。

第7の2 団体競技の選考に当たっては、個人競技の選考に準じ、第4から第6までに定める事項について配慮するよう努めるものとする。

### （代表選手候補者の推薦）

第8 代表選手候補者の推薦に当たっては、第2から第7までに定める事項のほか、全スポ大会開催地の地理的状况や旅行日程、宿泊条件等を考慮し、派遣期間中の健康維持等が可能であって、埼玉県選手団の一員として集団生活・行動が行える者であること等を総合的

に判断するものとする。

(その他)

第9 この規程に定めのない事項については、選考委員会において協議の上決定する。

附 則

この規程は、平成18年2月15日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

全国障害者スポーツ大会埼玉県代表候補選手選考について

各競技の推薦方針については、以下のとおりである。

### 【個人競技】

競技名	各競技団体選考規程内容（抜粋・要約）																																							
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"><li>・選考にあたっては、選考大会において記録が優秀であった選手から、競技や種目の特徴に応じて選考する</li><li>・選考会議開催時点で国際大会等への出場経験や日本代表選手候補として選出されている選手は選考対象外する</li><li>・出場経験者については、同等の記録だった場合は出場回数が少ない選手を優先して選考する。～（中略）～ただし、連続で出場する場合は前回（の選考対象競技会）よりも記録が上回っている選手を優先する。</li></ul>																																							
水泳	<ul style="list-style-type: none"><li>・選考会の記録優良者の中から競技や種目の特性に応じて選考する</li><li>・障害区分、性別、年齢、居住地、学校等に偏りがないう、バランスを考慮して総合的に選考する</li><li>・知的リレー種目に参加するため、知的枠には女性1名以上を選考する</li><li>・開催地主催者が指定した参加枠に基づき、選考対象者の中から割り振るものとする</li></ul>																																							
アーチェリー	<ul style="list-style-type: none"><li>・下記の基準で選考を行う</li></ul> <table><tr><td rowspan="5">基準点 ポイント</td><td>種別</td><td>基準</td><td>プラス100点以上：50ポイント</td><td rowspan="5">成績評価 ポイント</td><td rowspan="5">選手該当区分 の全国大会 記録を上回った時</td><td rowspan="5">ポイント 30</td><td rowspan="5">全スポ出場 ポイント</td><td>全スポ大会出場回数</td><td>ポイント</td></tr><tr><td>リカーブ 50-30m</td><td>510</td><td>75～99点：40ポイント</td><td>出場経験 なし</td><td>30</td></tr><tr><td>リカーブ 30mW</td><td>500</td><td>50～74点：30ポイント</td><td>出場 1回</td><td>0</td></tr><tr><td>コンパウンド 50-30m</td><td>610</td><td>25～49点：20ポイント</td><td>出場 2回</td><td>-20</td></tr><tr><td>コンパウンド 30mW</td><td>600</td><td>1～24点：10ポイント</td><td>出場 3回</td><td>-40</td></tr></table>										基準点 ポイント	種別	基準	プラス100点以上：50ポイント	成績評価 ポイント	選手該当区分 の全国大会 記録を上回った時	ポイント 30	全スポ出場 ポイント	全スポ大会出場回数	ポイント	リカーブ 50-30m	510	75～99点：40ポイント	出場経験 なし	30	リカーブ 30mW	500	50～74点：30ポイント	出場 1回	0	コンパウンド 50-30m	610	25～49点：20ポイント	出場 2回	-20	コンパウンド 30mW	600	1～24点：10ポイント	出場 3回	-40
基準点 ポイント	種別	基準	プラス100点以上：50ポイント	成績評価 ポイント	選手該当区分 の全国大会 記録を上回った時	ポイント 30	全スポ出場 ポイント	全スポ大会出場回数	ポイント																															
	リカーブ 50-30m	510	75～99点：40ポイント					出場経験 なし	30																															
	リカーブ 30mW	500	50～74点：30ポイント					出場 1回	0																															
	コンパウンド 50-30m	610	25～49点：20ポイント					出場 2回	-20																															
	コンパウンド 30mW	600	1～24点：10ポイント					出場 3回	-40																															
卓球	<ul style="list-style-type: none"><li>・競技力（試合結果）</li><li>・人間力（自律性、協調性、社会性）</li><li>・障がい、男女人数、年齢のバランス</li><li>・決勝トーナメント、決勝リーグにおける成績</li><li>・代表希望者が勝ち上がっていない場合は、評価表をもとにリーグ内の成績も参考にする</li><li>・他の候補選手との協調性、本人の社会性、自律など、練習会や合宿を考慮する</li></ul>																																							
フライング ディスク	<ul style="list-style-type: none"><li>・アキュラシー、ディスタンスの各競技区分の中で競技記録の成績上位者の中から選出する</li></ul>																																							
ボウリング	<ul style="list-style-type: none"><li>・埼玉県の代表として、自覚のある行動をとれる者</li><li>・ふれあいピックの成績上位から選考</li><li>・各部門（少年男女、青年男女、壮年男女）の成績上位から選考</li><li>・全国大会で上位入賞が期待できる者</li></ul>																																							
ボッチャ	<ul style="list-style-type: none"><li>・上位の成績をおさめた者。ただし、選考会最上位の選手が必ずしも代表候補選手に最優先で推薦されるとは限らない。</li><li>・選手2名のうち1名は「全スポ」のボッチャ競技での出場の未経験者とする。また、残りの1名についても未経験者を優先することがある。</li><li>・原則として事前に示された2回の説明会、および4回の練習会のすべてに参加可能な者。</li><li>・主催者および競技団体が以下の条件を満たすと判断した者。<ul style="list-style-type: none"><li>・遠征期間中、支援を受けながらも自己管理の下で生活できる者。</li><li>・ボッチャの競技者として自立し、安全に競技を行うことができる者。</li><li>・ボッチャ競技に真摯に取り組み、他の競技者の手本となることができる者。</li></ul></li><li>・選手団の他のメンバーと良好な関係を築き、もう一人の選手と協力してペア戦での競技をすることができる者。</li></ul>																																							